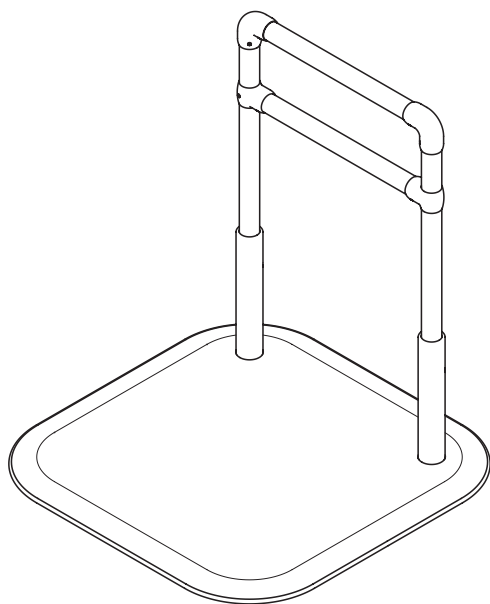


たちあっぷ®Ⅱ CKH-21 メンテナンスマニュアル



CKH-21

目次

！安全に関する表示	2
1. メンテナンスの目安	2
2. メンテナンス方法	3
3. 保管・輸送方法	8
4. 消毒方法	9
5. メンテナンス部品表	10

お買い上げありがとうございます

販売店様：このメンテナンスマニュアルを必ずお読みになり大切に保管してください。

矢崎化工株式会社

保管用

よくお読みください

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. メンテナンスの目安

場 所	状 態	対 処 方 法
全体	➡ 汚れ	➡ 2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り
	➡ ガタつき	➡ 2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [9] 部品交換
	➡ 部品の変形、深いキズ、亀裂	➡ 2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	➡ 部品がうまく取りつかない	➡ 2. メンテナンス方法 [3] 取付方法の確認 [9] 部品交換
	➡ ねじがスムーズに回らない	➡ 2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
ベース	➡ さび	➡ 2. メンテナンス方法 [4] さびの除去 [9] 部品交換
	➡ 縁ゴムの外れ、破損	➡ 2. メンテナンス方法 [5] 縁ゴムの再取付 [9] 部品交換
スタンド	➡ さび	➡ 2. メンテナンス方法 [4] さびの除去 [9] 部品交換
	➡ 汚れ	➡ 2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り
	➡ 表面を磨いた跡が目立つ	➡ 2. メンテナンス方法 [8] スタンドの塗装
手すりフレーム	➡ ジョイントが外れたり、深いキズや亀裂がある	➡ 2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	➡ 手すりフレームのガタつき	➡ 2. メンテナンス方法 [2] ねじのゆるみ点検 [6] 手すりフレームを逆に取り付ける [9] 部品交換
マット	➡ 表面部に深いキズまたは亀裂がある	➡ 2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	➡ マグネットが剥がれている	➡ 2. メンテナンス方法 [9] 部品交換
	➡ マットが反り返っている	➡ 2. メンテナンス 方法 [7] マット反り返り変形の矯正

2. メンテナンス方法

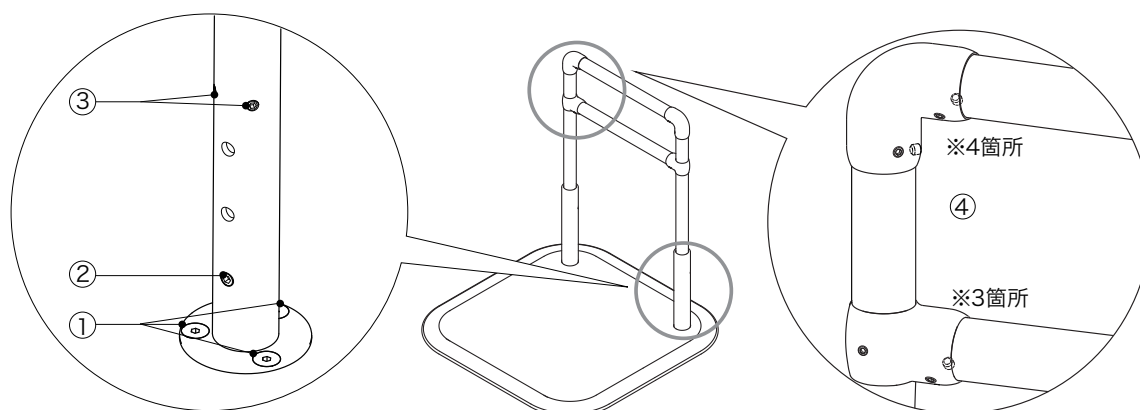
[1] 拭き取り

- 水か中性洗剤を含ませた布を固くしぼって拭いてください。
- スタンドに指紋や手のあとがついているのが気になる際は水か中性洗剤を含ませた布を固くしぼって拭き取ってください。

⚠ 注意	
禁止	●シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質するおそれがあります。
	●たわしや磨き粉で磨かない。 傷がつくおそれがあります。
必ず守る	●直射日光は避けて、陰干しにする。 変形や破損するおそれがあります。

[2] ねじのゆるみ点検

- 必要工具：六角レンチ（対辺 5mm、対辺 4mm、対辺 3mm）
- 下図の①～④のねじが表内の締付トルクで締め付けられていることを確認してください。
ねじがゆるんでいる場合は締付トルクで締め付けを行ってください。
スタンドにガタつきがないこと、②③の六角穴付き止めねじのねじ頭がスタンド面から出ていないこと、また④のねじ頭がブラケットから出ていないことを確認してください。
- 締付トルクで締め付けてもガタつきがある場合は「[6] 手すりフレームを逆に取り付ける」を行ってください。
部品に変形や深い傷、亀裂がある場合は適切に「[9] 部品交換」を行ってください。



	ねじの種類		必要工具	締付トルク
①		六角穴付き皿ねじ (M8 × 15)	六角レンチ 対辺 5mm	12.5N・m {128kgf・cm}
②		六角穴付き止めねじ (M10 × 38)	六角レンチ 対辺 5mm	6.9 ～ 7.8N・m {70 ～ 80kgf・cm}
③		六角穴付き止めねじ (M8 × 5)	六角レンチ 対辺 4mm	3.9 ～ 4.9N・m {40 ～ 50kgf・cm}
④		六角穴付き止めねじ (M6 × 4)	六角レンチ 対辺 3mm	3.9 ～ 4.9N・m {40 ～ 50kgf・cm}

⚠ 注意	
禁止	●上記締付けトルク以上で締め付けない。
	●電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)

[3] 取付方法の確認

- 正しく取り付けられているか、「たちあがりⅡ取扱説明書」で取付方法をご確認ください。
取扱説明書通りの取付方法でも部品がうまく取りつかない場合には、部品に変形や深い傷、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。

[4] さびの除去

- 必要工具：紙やすり（耐水性）（推奨粒度：ひどいさびには #300、それ以外は #1000）
 - (1) 紙やすり（耐水性）は使用しやすい大きさに切ってください。
 - (2) 紙やすり（耐水性）#1000 で取り除いてください。
 - (3) (2) で取り除けない場合は紙やすり（耐水性）#300 でさびを取り除き、紙やすり（耐水性）#1000 で仕上げてください。
- 同じところを磨き続けると、その部分だけが軽く陥没することになりますので、注意してください。
- ベースやスタンドに変形、深いキズ、亀裂がある場合には「[9] 部品交換」を行ってください。

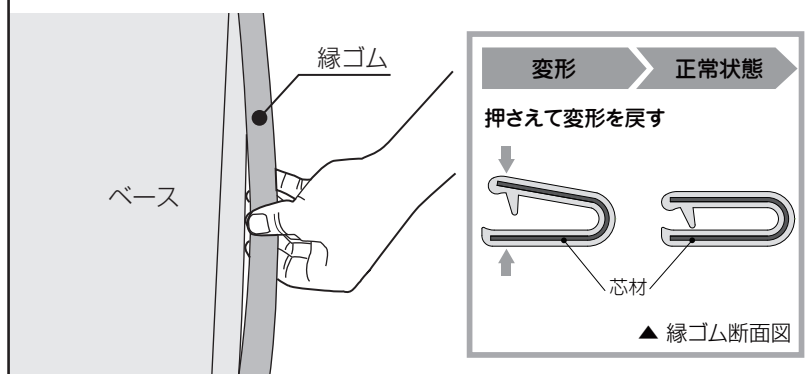
⚠ 注意	
❗ 必ず守る	●紙やすり（耐水性）は、使用する商品の取扱説明書をよく確認し作業する。
メモ	●スタンドには表面処理を施しており、研磨した際は外観が変わる場合があるので、注意する。

[5] 縁ゴムの再取付

- 一部の外れなどがあり縁ゴムに破損や劣化がない場合は再取付を行ってください。
縁ゴムに劣化や破損がある場合は「[9] 部品交換」をしてください。

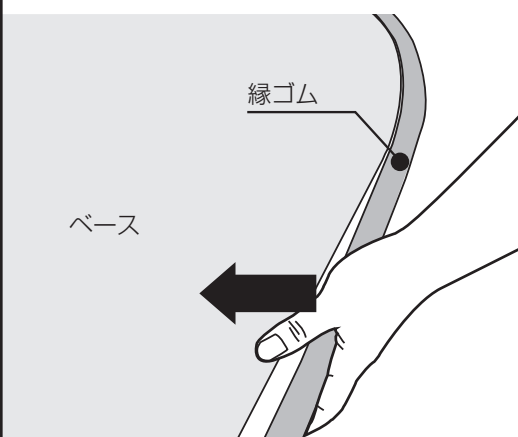
手順①

縁ゴムは落下などの衝撃により、中の芯材が変形することがあります。変形したままではめ込んでもすぐに外れてしまうので、縁ゴムが外れた箇所を指で押さえつけて、縁ゴムの変形を矯正してください。指で押さえても変形が直らない場合は、ペンチなどで押さえてください。



手順②

縁ゴムを手で押さえてベースにはめ込んでください。

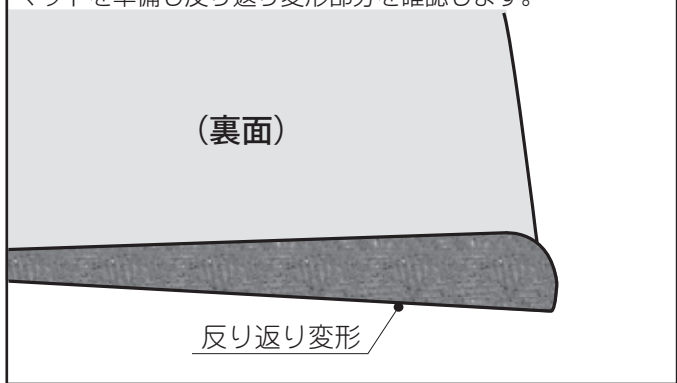
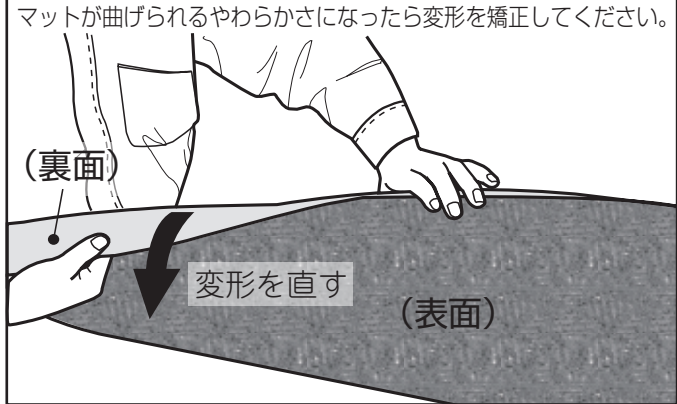
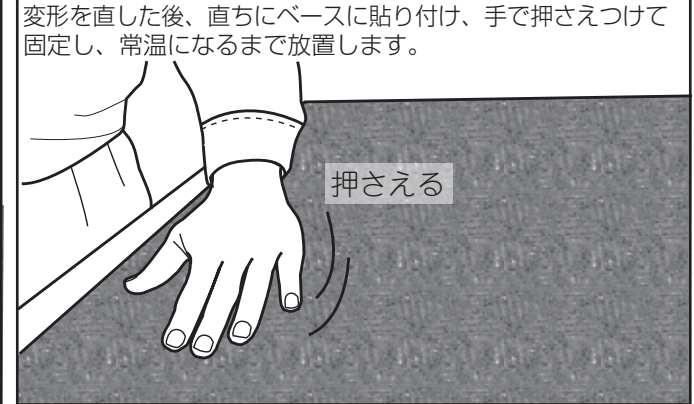


[6] 手すりフレームを逆に取り付ける

- 手すりフレームのガタつきは、六角穴付き止めねじ (M8 × 5) の締め付けにより、手すりフレームの樹脂部が削れるため生じます。手すりフレームを逆に取り付けてください。
手すりフレームの取り外し・取付方法は「たちあがりⅡ 取扱説明書」をご確認ください。
- 手すりフレームを逆に取り付けてもガタつきがある場合は、部品に変形や深い傷、亀裂がないかを確認し、適切に「[9] 部品交換」を行ってください。

[7] マットの反り返り変形の矯正

●マット表面に深いキズや破損がある場合は「[9] 部品交換」を行ってください。

手順① マットを準備し反り返り変形部分を確認します。 	手順② マットの反り返り変形部分の表裏をドライヤーで温めます。やけどに注意し、手で触れられる程度まで温めてください。 
手順③ マットが曲げられるやわらかさになったら変形を矯正してください。 	手順④ 変形を直した後、直ちにベースに貼り付け、手で押さえつけて固定し、常温になるまで放置します。 

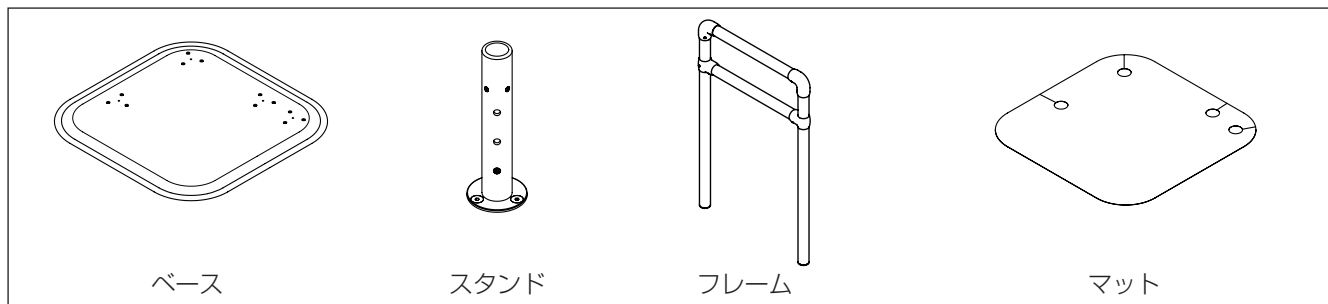
[8] スタンドの塗装

- たちあぷⅡスタンドはキズに強い表面処理を施しておりますが、キズの補修やさびの除去を行った際、紙やすりなどでスタンドの表面を広範囲にわたって磨くと金属光沢が目立つことがあります。気になる場合は、下記の手順で全面に塗装を行ってください。
 - ①塗装面の油分、汚れ、水分などをパーツクリーナー等を使用して除去してください。
 - ②ステンレス対応のプライマーを塗布してください。(この作業を行わないと塗装がはがれやすくなります。)
(推奨プライマー: 株式会社 染めQ テクノロジー製 ミッチャクロン マルチ エアゾール)
 - ③たちあぷⅡスプレー塗料 (CKA-2AS SL) でスタンド表面を薄く 2 ～ 3 回重ねて塗装してください。
- スタンドに変形、深いキズ、亀裂がある場合には「[9] 部品交換」を行ってください。

⚠ 注意	
 必ず守る	●プライマーは使用する製品の取扱説明書をよく確認し、作業する。
 メモ	●塗装面に油分、汚れ、水分が付着していると、塗膜の性能が低下する可能性があるので注意する。

[9] 部品交換

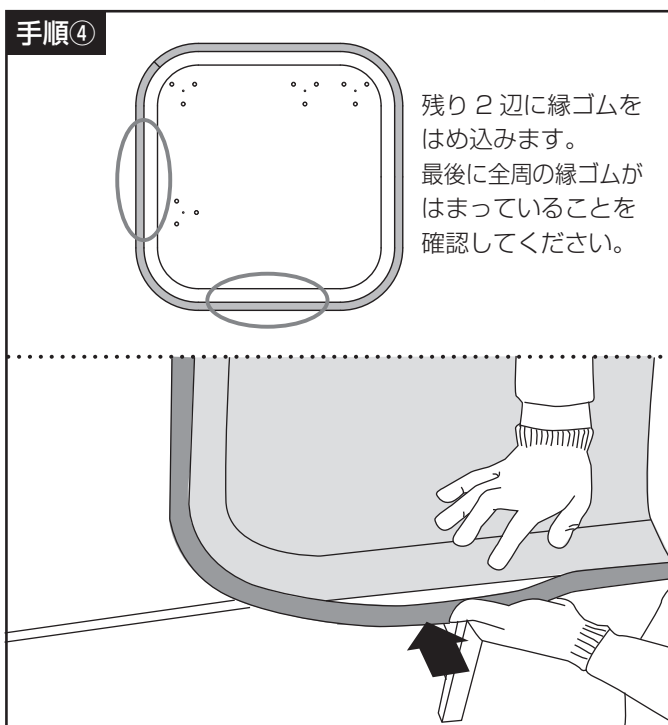
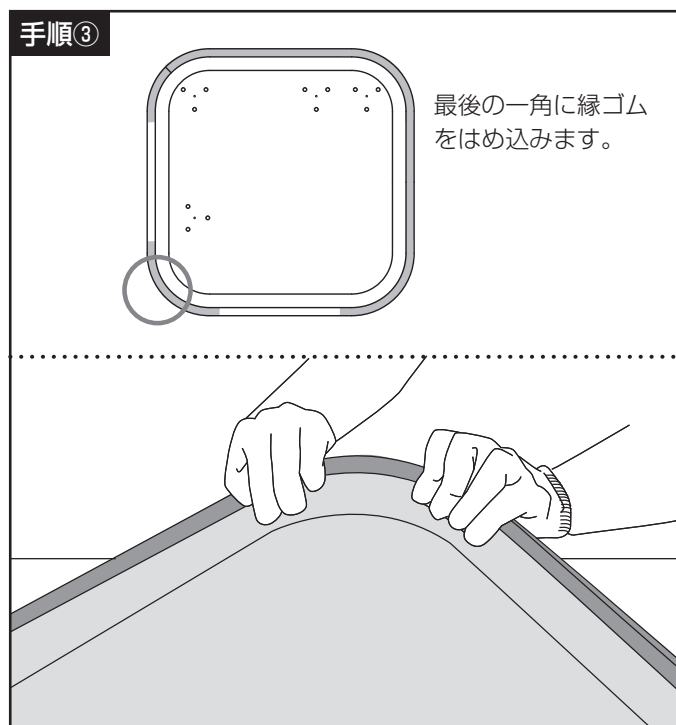
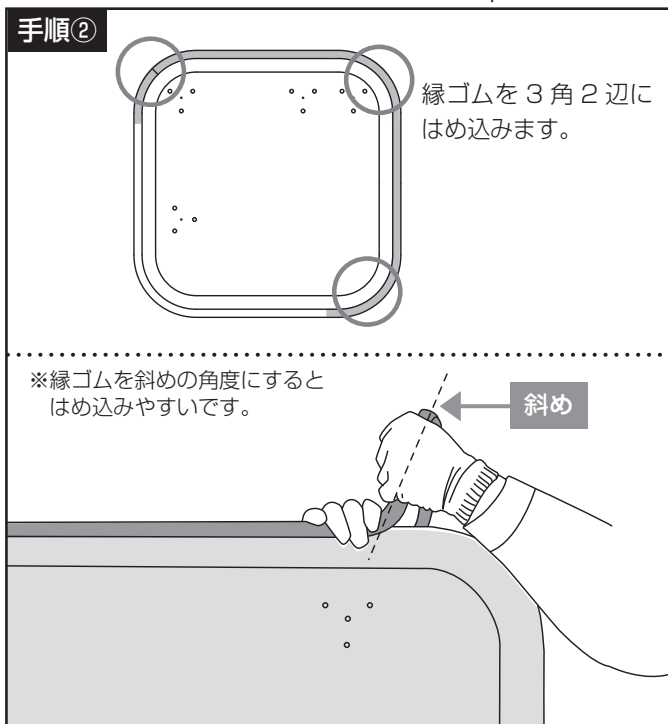
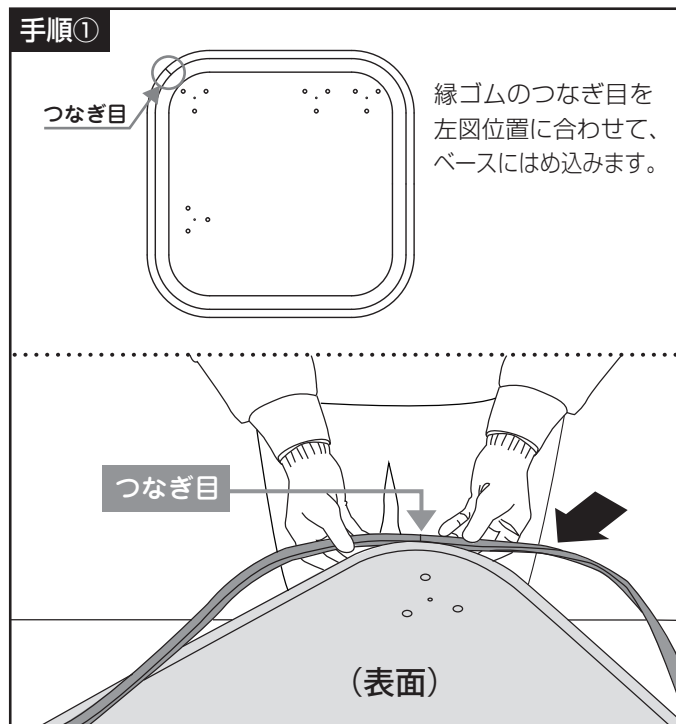
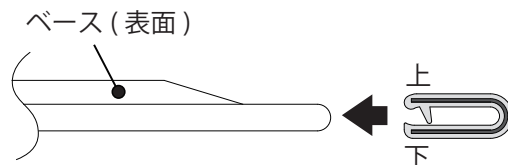
下記 4 部品の部品交換方法は「たちあがりⅡ取扱説明書」をご参照ください。



●縁ゴムの交換

はじめに

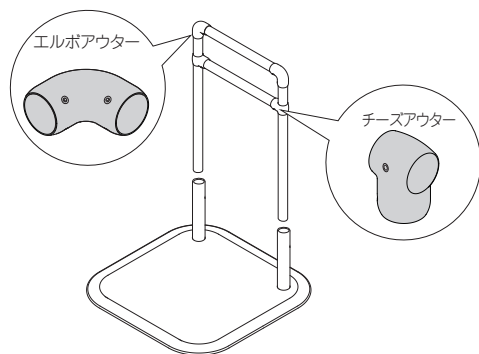
取り付けられている縁ゴムを引っ張って取り外してください。
新しい縁ゴムの上下、およびつなぎ目の位置を確認してください。



●フレームジョイントの部品交換

はじめに

- ・ 必要工具：六角レンチ（対辺 3mm）
- ・ フレームをベースから取り外してください。
- ・ テーブルなどの平面に置いて、組み立てると歪みが抑えられます。

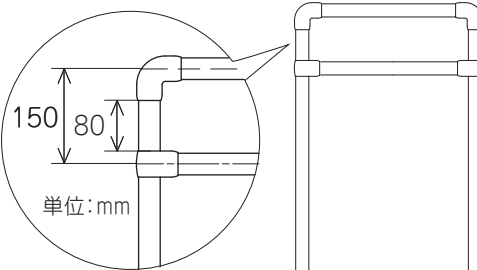


⚠ 注意

- パイプ間の寸法が変わらないように部品交換を行ってください。
特に複数の部品を交換する際には下図すき間寸法を守って組み付けを行ってください。



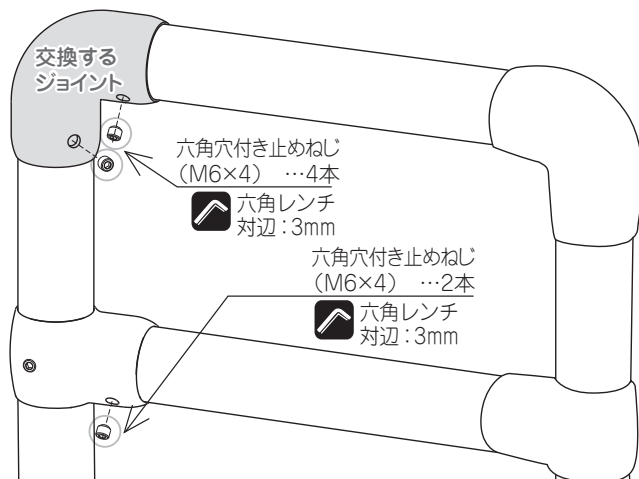
必ず守る



エルボアウター交換方法

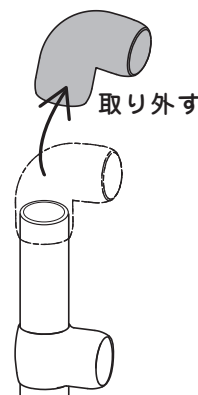
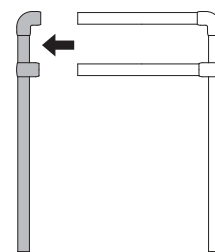
手順①

六角レンチでエルボアウターのねじ 4 本とチーズアウターの横パイプをとめているねじ 2 本を外します。



手順②

エルボアウターを取り外します。



手順③

新しいエルボアウターをフレームに取付け、エルボアウターとチーズアウターのねじを締め付けてください。
(ねじにゆるみ止めが付着されているので、ジョイント交換の際には、ねじも新しいものに交換してください。)

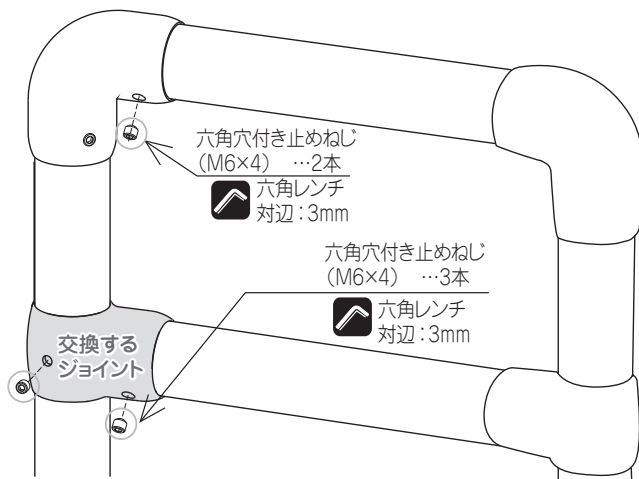
締付トルク：3.92N・m{40kgf・cm}



チーズアウター交換方法

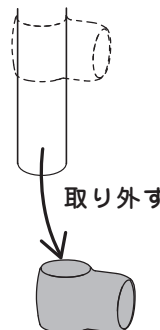
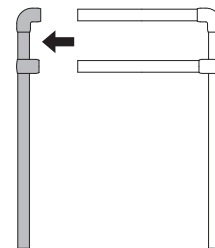
手順①

六角レンチでチーズアウターのねじ 3 本とエルボアウターの横パイプをとめているねじ 2 本を外します。



手順②

チーズアウターを取り外します。



手順③

新しいチーズアウターをフレームに取付け、チーズアウターとエルボアウターのねじを締め付けてください。
(ねじにゆるみ止めが付着されているので、ジョイント交換の際には、ねじも新しいものに交換してください。)

締付トルク：3.92N・m{40kgf・cm}

▶次ページに続きます。

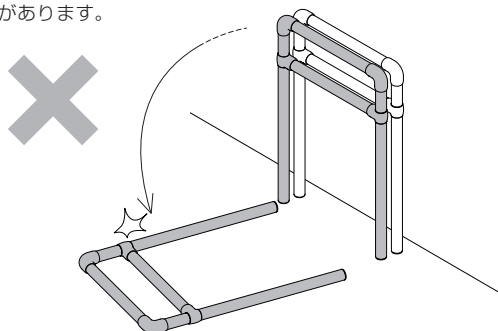
⚠ 注意	
禁止	●指定トルク以上で締め付けない。
	●電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 （ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。）
必ず守る	●部品交換を行う際は、指定部品を使用する。
	●部品交換を行った際は、ご使用前にねじのゆるみ、ガタつきがないことを再確認する。
	●定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認する。

3. 保管・輸送方法

- 製品は直射日光を避けて、乾燥した常温の室内に保管してください。
- 手すりは安定した状態で保管・輸送してください。
- 手すりは外部からの衝撃や荷重がない状態で保管・輸送してください。

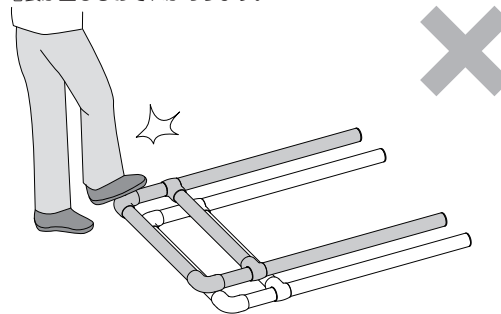
①手すりを立てかけるなど不安定な状態で保管・輸送をしない。

倒れた衝撃で手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



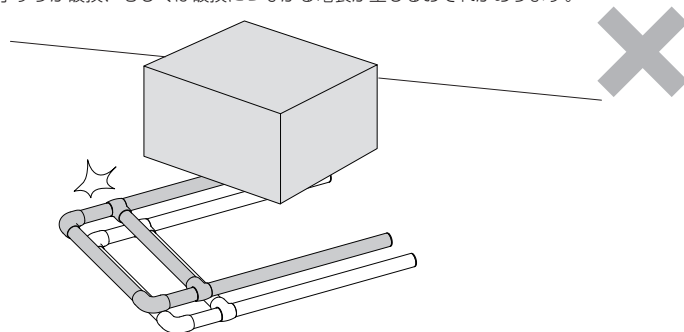
②手すりを地面に寝かせた状態や重ねた状態で保管・輸送をしない。

足で踏んだり、重ねた衝撃で手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



③手すりの上に荷物を載せない。

手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



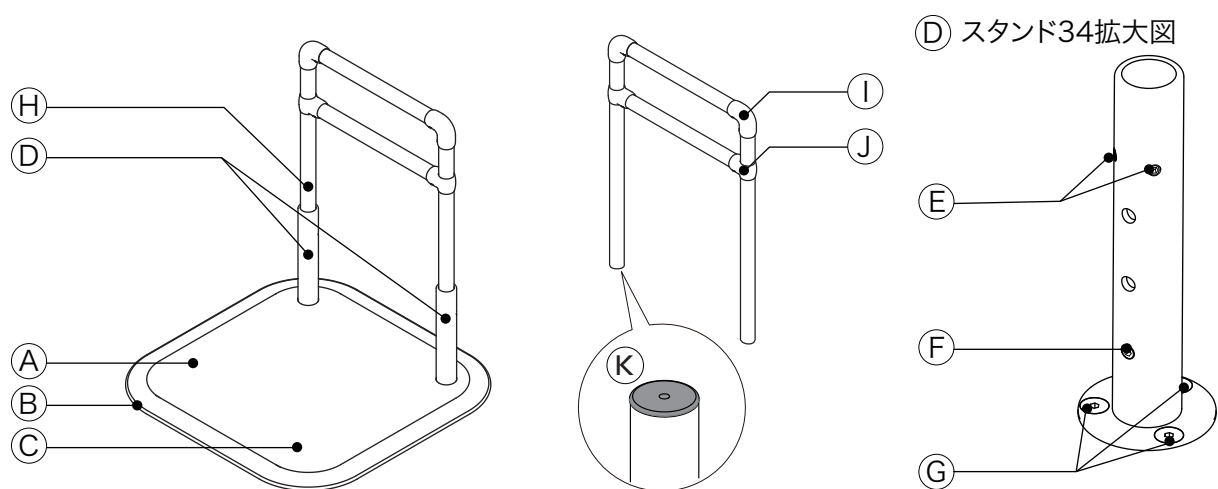
⚠ 注意	
禁止	●手すりを保管・輸送する際は手すりに衝撃や荷重をかけない。 手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。
必ず守る	●直射日光の当たらない、乾燥した常温の室内に保管する。 高温多湿の場所で保管すると変形、結合部の外れの原因になります。

4. 消毒方法

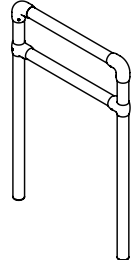
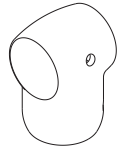
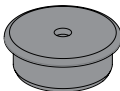
- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用してください。
(参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120 倍～ 300 倍程度に希釈)

⚠ 注意	
 禁止	●オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	●消毒液や石鹼成分が残らないようにしっかり拭き取る。 変質して破損するおそれがあります。

5. メンテナンス部品表



記号	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
A	たちあっぷⅡ ベースⅡ (縁ゴム付)	CKA-2AA		ステンレス 縁部：樹脂・アルミ	1 台
B	たちあっぷⅡ 縁ゴムⅡ BR(1 周)	CKA- 2AC		樹脂・アルミ	5 本
C	たちあっぷⅡ マットⅡ B	CKA-2DB		樹脂・マグネット	1 枚
D	たちあっぷⅡ スタンド 34	CKH-2BA34		ステンレス	1 本
E	六角穴付き止めねじ (M8 × 5)	CKA-2BB M8 × 5 12 個		ステンレス (黒)	12 本
F	六角穴付き止めねじ (M10 × 38)	CKH-2BC M10 × 38 12 個		ステンレス (黒)	12 本

記号	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
G	六角穴付き皿ねじ (M8×15)	CKA-2BD M18×15 18 個		ステンレス	18 本
H	手すりフレーム CKH-F21(φ34)	CKH-F21		ジョイント：アルミ パイプ： プラスチック被覆 ステンレスパイプ	1 台
I	φ34 エルボアウター (止めねじ付)	ECA-5029 MGR		アルミ	1 個
J	φ34 チーズアウター (止めねじ付)	ECA-5045 MGR		アルミ	1 個
K	φ34 エンドキャップ 10 入り	CKH-FIC10 個		樹脂	10 個
—	六角レンチ (対辺 4mm)	CKA-MH 4M		スチール	5 本
—	六角レンチ (対辺 5mm)	CKA-MJ 5M		スチール	5 本
—	六角レンチ (対辺 3mm)	CKA-MT 3M		スチール	5 本
—	たちあっぷⅡ スプレー塗料	CKA-2AS SL		アクリルラッカー	1 本
—	注意喚起シール	CKA- 2GB		樹脂	5 枚
—	注意喚起シール A	CKA-GCA 50 個		樹脂	50 枚

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
Kaigo-web

<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北 海 道 支 店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美幌市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙 台 支 店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関 東 支 店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東 京 支 店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静 岡 支 店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大 阪 支 店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広 島 支 店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九 州 支 店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

17052304

DW-243-04